

(様式2)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立丹原高等学校

学校番号 ( 13 )

評 価 実 施 日		令和6年2月26日 ( 月 )	
委 員	氏 名	所 属 等	備 考
	玉井 治樹	元県立学校長	
	山内 政志	PENTA FARM代表取締役 はっきり農園代表	
	渡部 泰成	西条市役所(危機管理課副部長)	
	鎌田 竹広	鎌田農園代表	
	野島 貴子	愛媛県移住相談員	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
1 今年度の最終評価について	
(1) 教科指導について ○入試の志願者が昨年に比べて減少した。 ○総合的な探究の時間だけでなく、授業において探究型学習が取り入れられている。教科横断的に実施され、教育活動全般において成果が出ている。中学校や地域からの評価も高い。 ○教科指導において、1人1台端末の活用が積極的に行われている。 ○校内研修会が積極的に行われている。 ○観点別評価の共通理解が深められ、指導と評価の一体化が取り組まれている。	○中学生や保護者に本校の教育内容と成果を伝える機会を持つ。1日体験入学、出前授業、わくわくサタデースクールなど、本校の教育活動を体験してもらい、情報発信する機会を積極的に設ける。 ○総合的な探究の時間を始めとして、様々な教育活動で人前に立って発表する機会が増えており、自己探究力や問題解決能力を備えた生徒が育ってきている。今後も、そのような場面を教育活動に取り入れていきたい。
(2) 進路指導 ○進路情報の発信と進路実現では評価が高い。進路決定率は100%である。国立大学進学者数は昨年を上回り、大きな成果が出ている。生徒や保護者からは評価が高い。一方で、先生方の負担が心配される。 ○キャリア教育の評価が低い。生徒と保護者に進路情報の提供を図り、インターンシップやオープンキャンパスへの積極的参加を促す。	○教職員の情熱で一人一人を大切に、3年間を見通した手厚い指導を行っている。先生方の負担の軽減は、今後の課題であり、改善を図りたい。 ○生徒に進路実現に向けたきっかけを与え、最終的には自主的に取り組めるように指導したい。 ○キャリアパスポートノートの活用を見直したい。また、総合的な探究の時間、課題研究、総合実習などの科目と連携を図り、日常の授業をキャリア教育につなげたい。
(3) 生徒指導 ○気持ちのよい挨拶がよくできている。 ○校則については、ルールメイキングプロジェクトの一環として、生徒が主体的に学校側と対話をしている。校則検討委員会に参加し、校則の変更については生徒の意見を取り入れている。 ○欠席率が高くなり、皆勤率が低下した。 ○交通安全指導では、自転車の事故が3件あった。	○現在、落ち着いて学習できる環境が整っている。また、時代に合った校則となるよう、更に生徒の意見を聞きながら対応していきたい。 ○小・中学校からの不登校生徒が入学しているのが現状である。問題を抱える生徒の情報共有を深め、登校しやすい学校作りを目指す。 ○交通安全教育や命の教育を推進し、安心安全な学校作りを推進したい。交通事故ゼロを目指す。

<p>(4) 特別活動</p> <p>○部活動等で大きな成果が出ており、喜ばしい。生徒や保護者も関心が高いため、生徒募集にもつながる。高校再編計画が出ており、志望生徒が減少しており、今後これまでどおりの成果が上がるかが課題である。</p> <p>○ボランティアへの参加が増えている。探究型学習として、地域と連携した行事に生徒が主体的に参加している成果である。</p> <p>○グループマッチ、運動会、丹高祭では、生徒の主体性を重視して企画・運営をした結果、盛り上がった行事となった。</p>	<p>○部活動では、県総体72名、高文祭23名参加と自己評価の目標を大きく上回り、四国大会以上の出場者も多かった。今後も、運動部、文化部、生産部、農業クラブなど各方面で多様な活躍が見られるよう活動の活性化を図りたい。</p> <p>○地域と課題を共有し、地域と協働をして解決する探究型学習に今後とも取り組み、ボランティアでの参加をし、地域貢献をしたい。地域に根差した学校作りにつなげたい。</p> <p>○生徒会を中心に、更に生徒の主体性を生かした学校行事を企画・運営し、学校の活性化につなげたい。</p>
<p>(5) 相談・人権</p> <p>○生徒の問題の早期発見、早期対応ができています。教職員間で情報共有ができ、支援委員会の適切な開催もできた。</p> <p>○昨年度の人権・同和教育研究指定校の成果を生かし、継続的に取り組むことができた。保護者へ研修会、講演会への参加を募ったが、参加は少なかった。保護者への人権意識の啓発が課題である。</p>	<p>○面接週間、教育相談アンケートなど生徒の問題や状況を把握する機会を今後も定期的実施する。また、教職員間でも常に情報共有ができる組織作りと雰囲気作りをし、更に連携を深めたい。</p> <p>○いじめなどの人権問題には保護者は敏感である。生徒、保護者に寄り添った指導と連携を深めたい。</p>
<p>(6) 学校安全</p> <p>○情報セキュリティと情報モラルについては、問題行動等もなく適切に指導ができた。</p> <p>○1人1台端末の適切な管理と授業等における積極的な活用ができた。</p> <p>○防災教育の充実では、日頃から校内の安全点検を実施した。消防署と連携をして避難訓練を定期的実施した。</p>	<p>○1人1台端末は同機種のため管理がしやすいが、将来、個人の端末を使用する場合が出てくればどのように指導をしていくかが課題となる。</p> <p>○会議中、緊急地震速報が発表され、危機管理マニュアルに従って、生徒の安全確保・避難、被害状況の確認、報告等適切に対応ができた。避難訓練等の成果が表れた。</p>
<p>(7) 農業教育</p> <p>○イベントや講習会などに生徒が参加をすることで、地域と交流が深められた。</p> <p>○Global G.A.P.と県GAP認証取得などGAP学習を今後も推進し、学校の魅力ある活動につなげる。今年度、4年振りに台湾研修も実施できた。</p> <p>○農業クラブ活動では、プロジェクト発表と農業鑑定競技で全国大会に出場した。</p>	<p>○今後とも地域との交流を通じた農業教育を推進し、更に普通科と協働をし、学校の魅力ある活動や活性化につなげたい。</p> <p>○GAP認証取得と台湾への輸出と販売プロモーション活動、インターンシップは、学校の魅力ある取組となっている。継続して取り組んでいきたい。</p>
<p>(8) 業務改善等</p> <p>○ホームページ等を通して、教育活動や生徒の状況を外部に発信し、開かれた学校作りを推進してほしい。</p> <p>○進路や部活動等、素晴らしい成果が出ている。これらの学校の魅力を発信する力が、今後とも必要ではないか。</p> <p>○進路、部活動を始め、様々な方面で成果が出ている。その一方で、先生方の超過勤務時間が多く、負担を掛けている。難しい問題であるが、少しでも改善されると良い。</p>	<p>○今後もホームページの充実に学校全体で取り組み、学校の魅力発信に努めたい。また、他のツールも活用する必要がある。</p> <p>○欠員の補充ができず、特に農業科では大きな負担があった。超過勤務に改善は見られるが十分ではなく、閉庁日や繰替休業日の工夫等により教職員が休みやすい環境を整え、超過勤務時間の減少を図りたい。</p>
<p>2 学校運営への提言</p> <p>○入学してよかったと感じられるよう、生徒を育ててほしい。</p> <p>○地域と一緒に、地域の課題を発見、共有し、協働して解決できる教育活動を進めてほしい。現在取り組んでいる生徒主体の探究型学習を更に推進してほしい。</p> <p>○社会で通じる力、生きる力を育成してほしい。</p> <p>○中学生や保護者などに情報発信することで、学校の魅力をアピールし、生徒の活動を周知してほしい。</p>	<p>○学校の魅力化、充実につながる内容として国公立大学の合格者が過去最高となり、えひめサイエンスチャレンジでの最優秀受賞など成果が上がっている。また、総合的な探究の時間の発表会では、地域と協働し社会に通じる力が感じられた。今後とも生徒主体の探究型学習など、これまでの学びを深めていく。</p> <p>○中学生や地域に情報発信をし、学校の教育活動や生徒の活動成果を広めていく。</p> <p>○県立学校振興計画で統合になるが、今後とも丹原高校の学びを継承し、地域の教育環境の充実を図る。</p>